

科目	基礎作業学実習 I	担当	林 浩之	履修学年	2年
時間数	90分×時限×24回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では、作業療法で治療手段として用いる各作業活動の基本的知識や技法を習得するとともに、治療的意味について学ぶ。各作業活動について、使用する道具や活動の特性、活動に必要な身体機能と精神機能の要素について分析を行う。到達目標は、①各活動の使用する道具や工程を理解し説明できるようになる、②各活動の身体的・精神的効果を考え、説明できるようになることである。

【履修注意】

- ・安全に実習を行うために身だしなみを整え(爪を切る、長い髪は束ねるなど)、活動しやすく、汚れても良い服装を着用して授業に臨むこと。
- ・作品製作は時間内に終了すること。
- ・各活動について分析的な視点で製作すること。

(なお、作製状況によって、予定を変更することがある)

【評価方法】

- ・レポート5割、期末試験5割で総合的に評価する。
- ・レポートに関しては、やむをえない事情がない限り、提出期日に間に合わない場合は評価不可とする。
- ・期末試験の受験方法については、規定通りとする。

【試験について】

期末試験を実施する。なお、期末試験は筆記試験である。
再試験対象者の条件: レポート、期末試験の総合評価が60点未満

【予習・復習】

事前に、活動の効果等について考え、レポートを作成する過程で復習を行う。

【教科書】

特になし。

【参考書】

書籍名: 作業-その治療的応用 改訂第2版. 日本作業療法士協会編集. 協同医書出版

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	革細工①	スタンピングと編込みのプレスレットを完成させる。材料や物品の特性を学び、作製を通して治療的效果を分析する。
3・4	革細工②	定期入れを作製する。材料や物品の特性を学ぶ。
5・6	革細工③	定期入れを完成させる。作製を通して治療的效果を分析する。
7・8	木工①	本立てを作製する(製図、木取り)。材料や物品の特性を学ぶ。
9・10	木工②	本立てを作製する(木取り、組み立て)。材料や物品の特性を学ぶ。
11・12	木工③	本立てを完成させる(塗装、仕上げ)。作製を通して治療的效果を分析する。
13・14	あんでるせん	一輪挿しを完成させる。材料や物品の特性を学び、作製を通して治療的效果を分析する。
15・16	籐細工①	鍋敷きを作製する。材料や物品の特性を学ぶ。
17・18	籐細工②	鍋敷きを完成させる。作製を通して治療的效果を分析する。
19・20	マクラメ①	タオル掛けを作製する。材料や物品の特性を学ぶ。
21・22	マクラメ②	タオル掛けを作製する。材料や物品の特性を学ぶ。
23・24	マクラメ③・期末試験	タオル掛けを完成させる。作製を通して治療的效果を分析する。24回は、期末試験を実施する。
13		
14		
15		
16		